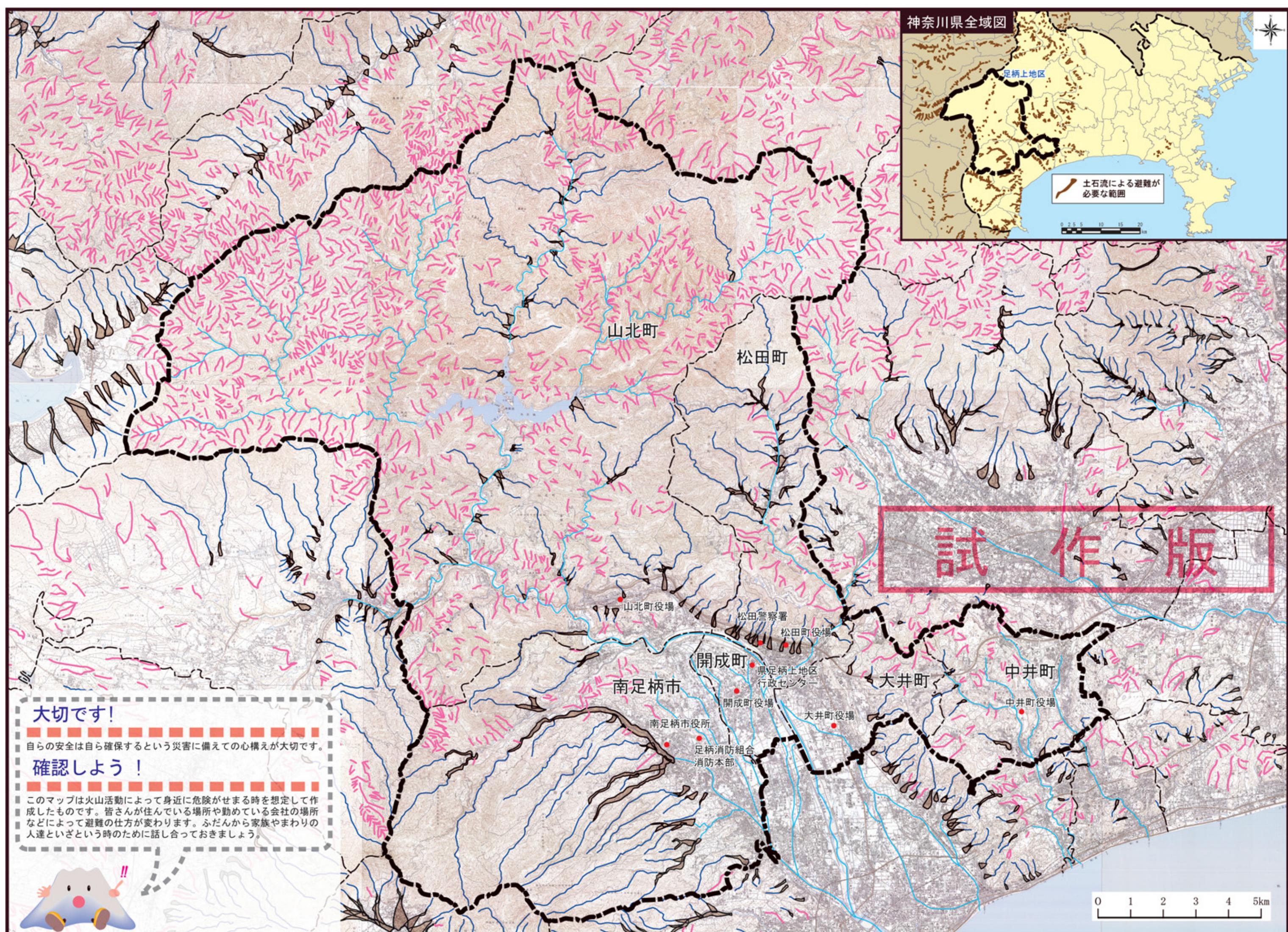


噴火により大量の降灰があった場合には 土石流に注意しましょう。

足柄上地区の火山防災マップ

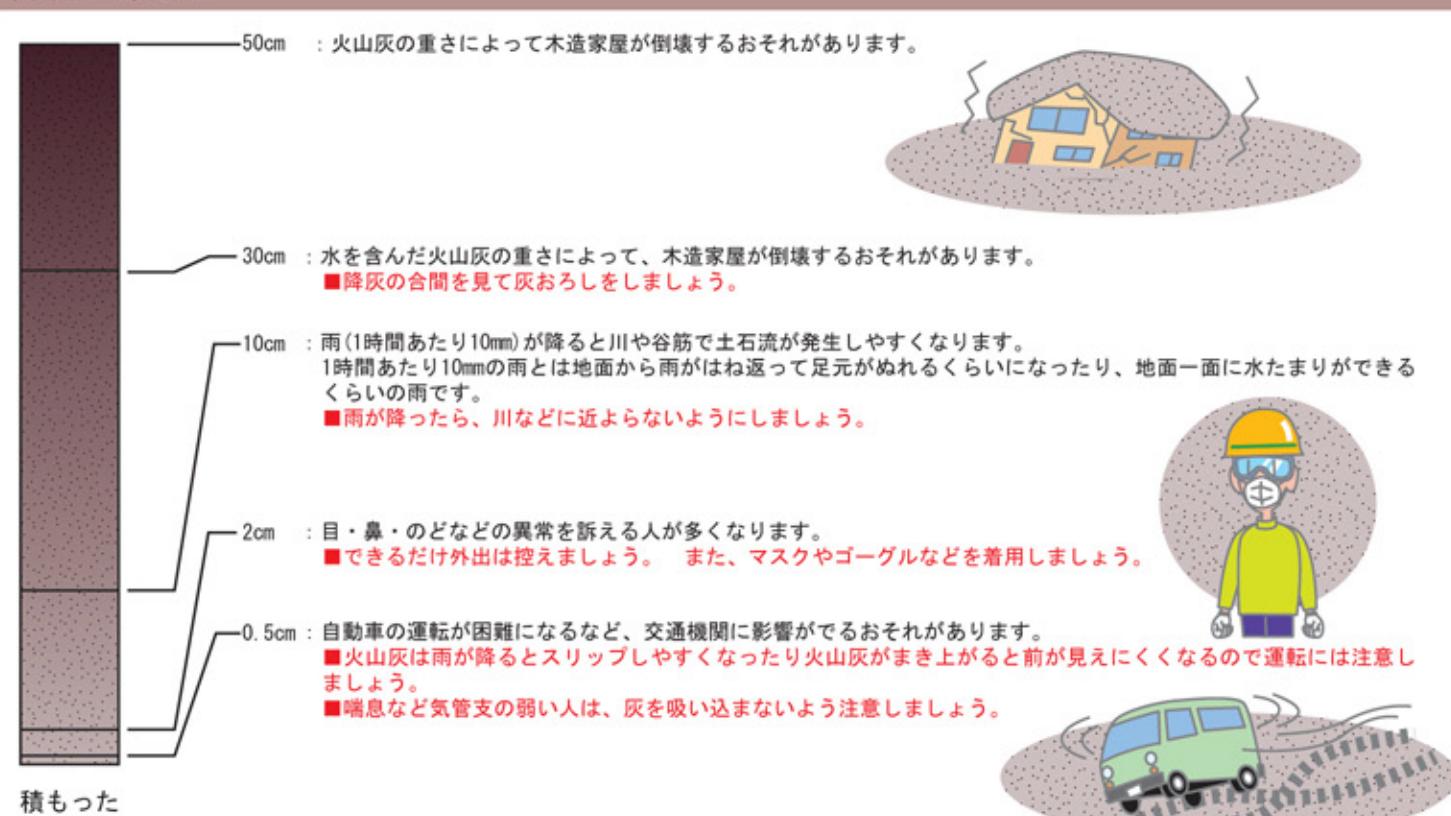
この図は、火山灰が積もったあとに雨が降って土石流が発生した場合、氾濫すると想定される範囲の分布を示しています。



図の見方と記号の意味

- 火山灰が厚く積もっている場合には、大雨警報が出た時に避難する必要がある範囲を示しています。火山灰が厚く（10cm以上）積もっている地域では少しの雨でも土石流が発生しやすくなりますので注意しましょう。（「土石流災害渓流および土石流危険区域調査要領（案）」に基づいて、抽出した渓流及び氾濫範囲を示しています。）
- ～ 人家から離れている沢や川で、土石流が発生する可能性のあるところ
- 防災機関位置
- ~~~~ 河川

降灰があると・・・



気象庁が発表する火山情報

- 緊急 火山情報**
生命、身体に関わる火山活動が発生した場合、あるいはそのおそれがある場合に随時発表されます。市町村の指示に従い速やかに避難範囲からの避難が必要です。
- 臨時 火山情報**
火山活動に異常が発生し注意が必要なときに随時発表されます。登山は自粛もしくは中止する必要があります。また噴火の可能性が高まったとされる情報が発表された場合は観光の取りやめや一部の方は避難が必要となります。
- 火山 観測情報**
火山活動に変化があった場合、あるいは緊急火山情報、臨時火山情報を補う場合などに発表されます。特段の対応は要りませんが、火山活動の状況を理解し、その後に発表される火山情報に注意する必要があります。

噴火しそうな時、噴火が始まった時には

- 気象庁が発表する火山情報に注意しましょう。
 - デマやうわさに惑わされないようにしましょう。
 - テレビやラジオのニュース、新聞、市の広報などを聞いて正しい情報を得ましょう。
 - 避難勧告などの指示があつた場合には従いましょう。
- 土石流に対する注意**
- 土石流の氾濫の可能性のある範囲にいる人は、大雨注意報が出された時は避難の準備をしましょう。
 - 大雨警報が出された時は急いで指定された場所に避難しましょう。
 - 避難時には川や谷筋を横切らないか、近づかないようにしましょう。その他にも火山灰が堆積している地域では少しの雨でも土石流が発生しやすくなりますので注意しましょう。

災害用伝言ダイヤル

「災害用伝言ダイヤル」は、大規模な災害が発生した場合に、被災地域内やその他の地域の方々との間で「声の伝言板」の役割を果たすシステムです。「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。

災害用伝言板(携帯電話)

「災害用伝言板」は、自分が被災地にいる場合に、携帯電話（iモード端末）から伝言板に自分の安否情報を登録し、家族や知人が携帯電話やインターネット上から確認できるシステムです。

防災機関の連絡先

松田町・山北町・開成町・大井町・中井町・南足柄市	
防災機関名	電話番号
足柄消防組合消防本部	0465-84-0119
松田警察署	0465-82-0110
南足柄市役所	0465-74-2111
中井町役場	0465-81-1111
大井町役場	0465-83-1311

松田町・山北町・開成町・大井町・中井町・南足柄市	
防災機関名	電話番号
松田町役場	0465-83-1221
山北町役場	0465-75-1122
開成町役場	0465-83-2331
県足柄上地区行政センター	0465-83-5111

あなたの避難場所

避難場所

電話番号

防災マップに示されている最も近い避難所を記入して下さい

「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び20万分の1地勢図、5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平17総復、第1017号)